

代表機関	山梨大学	プロジェクトリーダー	大岡 忠生 山梨大学大学院総合研究部医学域 准教授 株式会社Taomics 代表取締役
幹事自治体	山梨県、山梨県中央市	幹事機関	株式会社はくばく、シミックホールディングス株式会社、 株式会社Taomics、公益社団法人山梨総合研究所
参画機関	東京大学、東北大学、千葉大学、東京科学大学、九州大学、福島県立医科大学、奈良女子大学、ハーバード大学、スタンフォード大学 グーグル合同会社、株式会社電通、大塚製薬株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、株式会社東急、サーモフィッシュ・サイエンティフィック ジャパングループ、株式会社クスリのサンロード、株式会社日医工山梨		

プロジェクトの概要

本プロジェクトは「**全ての住民が有効かつ主体的に健康情報を利活用できる環境により、地域の健康と経済が持続的に発展するヘルスケア未来社会の実現**」をビジョンに定め、山梨から世界へ展開可能なオミックス×IoT×AIによる住民主体型健康管理拠点の構築を目指すものである。拠点がもつキーサイエンスを基に、山梨県中央市でオミックス・IoT情報の統合基盤を構築し、街全体で先端健康情報を利活用する仕組みを共創し、ビジョン達成を目指す。強固な若手支援体制と産学官民連携による外部資金循環により社会実装を加速し、持続運営の可能な地域環境基盤を整備し、**疾病予防・医療費抑制・経済活性化**を同時に実現する国際モデル都市を創出する。



地域未来社会ビジョン
全ての住民が有効かつ主体的に健康情報を利活用できる環境により、地域の健康と経済が持続的に発展するヘルスケア未来社会の実現

TARGET1: グローバル水準の大規模健康情報基盤の確立

研究開発課題1
大規模縦断オミックス・IoT
バイオバンクの構築と自立した資金循環モデルの確立

TARGET2: 生活習慣病/医療費の予測制御・最適化手段の確立

研究開発課題2
オミックス・IoT・AIの統合による生活習慣病の予測制御法の確立と地域介入実装

TARGET3: 住民の主体的な行動変容を促す情報活用促進環境の確立

研究開発課題4
IoTデバイスによるリアルタイム代謝管理の実現とヒト・暮らしへの先端IoT融合

研究開発課題5
生活環境病を予防し地域住民の健康行動を促進するまちづくり・環境基盤の構築

健康情報基盤を中心に、地域と経済が持続的に発展していく

病気にならないように
まち全体が見守ってくれる

健康情報が自然と蓄積され
生活の場面に活用されていく



自分で主体的に生活・行動を選び
健康をデザインする

街中で健康情報が利活用され
様々な産業が発展していく

目標
目標

山梨発・世界へ拡がるオミックス x IoT x AIによる住民主体型ヘルスケア未来共創拠点
— 健康情報基盤と行動変容モデルで地域と経済が持続的に発展する国際モデル都市の創出 —